



一橋大学附属図書館概要

令和 3 (2021) 年度

目 次

1.	一橋大学附属図書館の機能・特色	1
2.	令和2年度の活動状況	4
3.	統計	14
4.	機関リポジトリ	16
5.	利用案内	21
6.	施設	23
7.	組織	27
8.	沿革	30

《表紙写真》 附属図書館 建物正面 (H27.4 撮影)

本概要に掲載された文章、写真、図版等の著作権は、特記あるものを除いて、すべて一橋大学附属図書館に属します。著作権者の許諾を得ずに、著作権法の定める範囲を超えて、本概要からの転載等を行うことは禁止されています。

1. 一橋大学附属図書館の機能・特色

一橋大学附属図書館は、資料を集中化させる中央図書館制度を採っており、商法講習所の開設以来 146 年を経た歴史の中で、社会科学を中心とした約 205 万冊の図書や約 17,100 タイトルの雑誌、60 にも及ぶ貴重なコレクションを蓄積してきた。

さらに、社会科学を中心とした電子ジャーナルや電子ブック、データベースの充実、情報リテラシープログラム等の展開を図り、本学の研究教育を支援している。

また、一橋大学機関リポジトリ(HERMES-IR)、ウェブサイトや展示等により、本学の研究成果や知的・文化的資産である図書館資料を国内外に発信するとともに、他大学図書館等との連携強化によりサービスの向上を目指している。

1.1 一橋大学附属図書館の機能

研究支援	世界的研究に資する社会科学に関する総合的資料の収集に努める。 一橋大学機関リポジトリにより本学教員の業績とその一次コンテンツへのアクセス利便性を向上させる。
教育・学修支援	学生の情報リテラシー能力向上を支援し、学生の主体的活動と連携した学生協働事業を行うとともに、電子的資料や情報機器を活用した学修環境整備を進める。
社会貢献	本学が所蔵する貴重なコレクションを電子化することにより、国内外へ広く公開する。また、展示を行うことにより、学内関係者にとどまらず、地域住民等へ公開する。

1.2 一橋大学附属図書館の特色

(1) 中央図書館制度

中核となる図書館に資料を集中配置する仕組みで、当館にはこの制度により、社会科学系の研究総合大学としての研究教育活動に沿った資料が体系的、網羅的に収蔵されてきた。これにより、教員と学生の情報アクセス格差が限りなく小さくなるとともに、資源の共有、資料費の有効活用が図られている。

(2) 開架 140 万冊

蔵書の大半のおおよそ 140 万冊の図書・雑誌を開架配置しており、自由に利用することができる。これにより、図書館利用者の学習・研究が迅速かつ効率的に行われる基盤が形成されている。

(3) 電子的なサービス

社会科学系を中心とした電子ジャーナル(約 25,000 タイトル)や電子ブック(約 24,000 タイトル)、各種データベース(約 70 種)を提供している。ウェブサイトで貸出予約や図書購入申込、文献複写・相互貸借申込ができる MyLibrary サービスや、社会科学系の電子リソースポータルを提供している。また、EZproxy システムにより、キャンパス外からも MyLibrary を通じて電子ジャーナル等にアクセスできる。

また、一橋大学機関リポジトリ(HERMES-IR)は、一橋大学の研究成果や多様なコンテンツを収集し、積極的に発信することを目指している。

館内には、利用者が快適・安全に利用できる PC(50 台)を設置するほか、学内利用者の持込ノート PC などを、学内無線 LAN によりキャンパスネットワークへ接続することができる。また、ノート PC やプロジェクタの館内貸出も行っている。

(4) 静謐な読書空間

現在の図書館のうち最も古い時計台棟は、昭和 5(1930)年に建てられ、平成 26(2014)年に改修工事が行われた。

大閲覧室(2 階)は内装の改修を行い明るく綺麗に生まれ変わったが、景観は当時のままに、図書館としての静謐な読書空間を提供している。

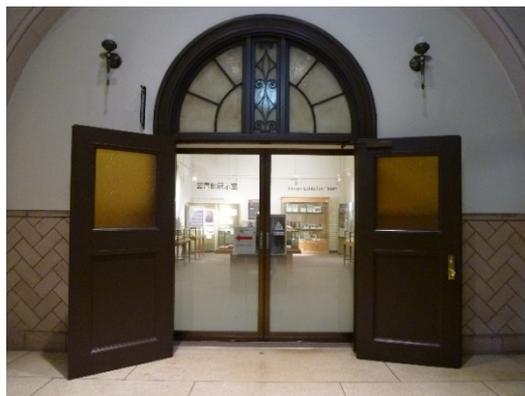


(5) 展示

図書館展示室では、常設展示として本学の歩みと所蔵コレクションを紹介している。

毎年秋の企画展示では、普段展示できない貴重資料等を公開するとともに、展示テーマに即した講演会を開催している。

図書館展示室は、時計台棟改修工事に伴い内装も新しくなり、平成 27(2015)年 5 月 17 日にリニューアルオープンした。



(6) 大学図書館としての全国的な役割

○ 外国雑誌センター館

国立大学に設置された分野別外国雑誌センター館(9 館)のひとつとして、昭和 60(1985)年から、国内未収集の社会科学系の外国雑誌等を体系的に収集・整理し、国内外の研究者等を対象にサービスを提供している。

○ EU 情報センター(EUi)

世界に約 500 機関(日本では 18 機関)ある欧州連合情報センター(European Info=EUi)のひとつとして、平成 3(1991)年から、EU 諸機関の主要な公式出版物や資料を備えている。

○ コンソーシアム等組織における連携活動

国立大学図書館協会、大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)、オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)などの会員館として、各組織の運営に携わっている。

(7) 他の大学等との図書館間連携・相互協力

○ 国内の大学図書館等との相互利用

次の各大学・研究機関の図書館との協定により、図書館の相互利用を行っている。

機関名	内容	開始時期
東京医科歯科大学 東京工業大学 東京外国語大学	「四大学連合憲章」に基づき、入館利用(館内閲覧、文献複写)のほか、特別聴講学生には館外貸出も可とする。	平成 15(2003)年 10 月
東京学芸大学 東京農工大学 電気通信大学	東京多摩地区の国立 5 大学の間で、入館利用を可とする。	平成 15(2003)年 10 月
慶應義塾大学	入館利用および ILL による現物貸借を行う。	平成 16(2004)年 6 月
早稲田大学	入館利用および ILL による現物貸借を行う。	平成 16(2004)年 6 月
上智大学	ILL による所蔵資料の現物貸借を行う。	平成 16(2004)年 6 月
アジア経済研究所	ILL による所蔵資料の現物貸借を行う。	平成 21(2009)年 10 月
国際基督教大学	入館利用および ILL による現物貸借を行う。	平成 23(2011)年 4 月
津田塾大学	入館利用および ILL による現物貸借を行う。	平成 23(2011)年 7 月
アジア経済研究所	入館利用および個人貸出を可とする。	平成 26(2014)年 1 月

○ 海外の大学図書館との交流

平成 24(2012)年から中国人民大学図書館と交流協定を結び、図書館の相互利用などの交流を行っている。

(8) 情報リテラシー教育支援

図書館の利用案内や、文献の検索・入手等の方法、データベースの利用法などのガイドンスを開催している。

2. 令和2年度の活動状況

2.1 主なトピックス

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

(1-1) 状況に応じた段階的なサービスの維持

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための大学としての活動指針に則り、感染症拡大防止のための措置を最大限講じた上で、本学教職員・学生に対するサービスを維持した。



閲覧席利用制限のため封鎖



(上) 館内に配置した消毒液

(下) 消毒を呼びかけるポスター



急ごしらえで手作りした飛沫防止用の
ビニールカーテン(2020年4月)

一橋大学附属図書館
HITOTSUBASHI UNIVERSITY LIBRARY

手指の消毒に
ご協力ください
Please use hand sanitizer



(1-2) 来館が困難な利用者にもヘルプデスク

令和2年3月27日より、新型コロナウイルス感染症拡大対策として、ヘルプデスクでのレファレンス相談をWebフォームから受付するよう対応したほか、令和2年6月15日以降はマイクロスキヤナの利用や国立国会図書館デジタルコレクションの利用、資料の撮影については事前予約制とすることで館内滞在時間を短縮できるよう運用を変更した。また、令和2年8月17日には、学内者向けに所蔵資料の複写物郵送サービスを開始し、12月14

日には、他大学図書館等から取り寄せた複写物の郵送サービスも開始した。さらに、他大学図書館等へ依頼した複写や現物貸借の料金支払いに際して、現金徴収による利用者との接触機会および会計処理のための待ち時間を減らすため、スマートフォンによる決済サービスを導入し、令和2年12月よりサービス開始した。

令和2年度のサービス変遷		サービス時間	貸出複写	返却	購入リクエスト	ILL受付	開架書架への立入	卒論の閲覧	PC席	閲覧席	閉架書庫への立入	グループ学習室 時計台棟 commons	郵送貸出 複写郵送										
通常期		平日8:40～22:00 土日9:30～20:00	○	○	○	○	○	○	○ 50台	○ 自由利用	○ 平日8:40～ 16:30	○	×										
令和2年 4月	2020/4/1～4/5	平日8:40～20:00 土日9:30～17:00	○	○ 開館時間 中もブック ポストを併用	○	○ 複製・貸 借件数制 限	○ Web事前 予約・時 間制限	○ Web事前 予約・時 間制限	○ 10台貸出 制・時間 制限	○ 1/2程度 利用可	○	×	○										
	4/6～4/9		○											×	×	×	×	×	×	×	×	×	
5月	4/10～5/14	火金 9:30～16:30	○											×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
6月	5/15～6/14	火水金 9:30～16:30	○											×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
7月	6/15～7/6	平日9:30～16:30 土日休館	○											×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
8月	7/7～8/16	平日9:30～16:30 土日休館	○											×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
9月	8/17～9/13	平日9:30～16:30 土日休館	○											×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
10月	9/14～2021/3/31	平日9:30～17:10 土日休館	○											○	○ 貸借件数 制限	○	○	○	○ 10台貸出 制	○ 1/4程度利 用可	○	○	○
11月																							
12月																							
令和3年 1月																							
2月																							
3月																							

(1-3) 各種ガイダンスをオンラインで実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため授業が原則としてオンライン実施となったことに伴い、例年図書館が実施している各種ガイダンスもオンラインで実施した(年度合計47回、781人参加)。従来の対面方式での実施が制限される中で、ライブ配信や動画提供により、オンライン環境下における情報リテラシー教育活動を充実させるとともに、動画やスライド資料を学内限定で公開し自習教材としての活用も促進した。また、令和3年度に向け、ガイダンスの実施方法を感染対策と実施効果の両方の面から抜本的に見直し、学生が自身のニーズに合わせて視聴できる動画の作成およびYouTubeチャンネルの開設を行った。

(1-4) ブックトークのオンライン開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来図書館会議室で開催していたブックトークをオンライン(Zoom ミーティング)で開催した。



(左)ポスター



(右)開始前案内用のスライド

Zoom利用上の注意

- マイクとカメラはOFFにしてください。
- 名前は入室後も変更可能です。
- ブックトークの録音・録画は固くお断りいたします。

(1-5) 読書推進活動としてのオンライン図書展示の実施

Yomocca コーナー等図書館内で展開していた特定テーマによる図書の小展示について、ブクログ(株式会社ブクログが運営している仮想本棚を作成できる Web サービス)を活用することにより、学外からも展示図書を眺めることができるようにした。また、来館しなくても本文にアクセスできるよう展示対象に電子ブックを含めた展示にした。

(1-6) 学外から利用可能な電子リソースを提供するための取組み

コロナ禍における研究・教育環境を維持するため、次のとおり、学外からも利用できる電子リソースの整備を図った。1)無償トライアルを積極的に実施した。2)オックスフォード大学出版局およびケンブリッジ大学出版の有償トライアル, Maruzen eBook Library の有償試読サービス, ProQuest Academic Complete の契約を行った。3)契約上学外アクセスが認められていないデータベースについて、提供元と交渉し、学外アクセスができるようにした。4)法律系の継続図書を冊子購入からデータベースに切り替えることにした。5)学外からアクセスできる電子リソースについて一覧できる特設ページを Web サイトに設置し、トライアル等の情報を発信した。

(2) 図書館業務システムの更新

令和2年9月末に、附属図書館の各種サーバ、端末、ネットワーク機器等から構成される図書館業務システムを更新した。サーバ群は全学共用の業務系情報基盤システムの仮想化基盤上に構築し、部局ネットワークは総プライベート化することで、システムの可用性

や機密性に配慮したものになっている。機関リポジトリは、JPCOAR スキーマや IIF への対応に配慮しつつ、サーバを DSPACE から図書館業務ソフトウェア E-Cats のオプション機能に変更した。

(3) 令和元年 19 号台風による水損資料の保存修復と水損個所周辺書架・資料の点検

令和元年台風 19 号による水損資料の保存修復について、田嶋記念大学図書館振興財団の助成を受けることができ、中性紙製保存容器への収納や修理製本等の保存修復処置を本格的に実施した。また令和 2 年 11 月 24 日から令和 3 年 2 月 24 日にかけて、学内ワークスタディの協力を得て、被災した書庫のうち第 2 書庫 1 階について、水損個所周辺の書架清掃と配架資料 1 点ずつの点検・クリーニング・必要に応じた保存修復処置を行った。

水損被害からの復旧について『大学図書館研究』117 巻(2021) (小特集:災害と図書館)に報告を投稿し、掲載された。(<https://doi.org/10.20722/jcul.2105>)

2.2 年間活動記録

(1) 情報リテラシー教育関連

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、原則としてオンライン(解説動画の提供またはウェブ会議システムによるライブ配信)で実施した。

① 図書館主催講習会

開催日	内容	開催回数	参加人数
4 月 2 日(火)以降	図書館ガイダンス＋ツアー スライド資料(図書館の利用案内や資料の探し方の解説)とセルフツアーガイド(館内施設案内)を図書館ウェブサイトで公開した。	—	—
5 月(各授業による)	リサーチ・スキルズ 附属図書館職員が、学部 1 年次の導入／基礎ゼミの一環として、動画ファイルの提供による情報の探し方を実施。	20	262
6 月 15 日(月)～ 6 月 23 日(火)	ワークショップ:法学科目(憲法)の答案を書くために 法学科目の答案作成のための主に法学部 1～2 年生向けワークショップ。法学研究科と共催で Google Classroom を使用した録画での講義、個人ワークを行い、アンケート上で講師宛に寄せられた質問とその回答をまとめた「Q&A」を、同じく Google Classroom 内で公開した。	1	70
7 月 1 日(水)	データベースガイダンス 東洋経済デジタルコンテンツライブラリーの提供会社が講師として、ライブ配信でデータベースの活用方法を解説。後日 Google Classroom でガイダンス録画を学内限定で公開。	1	29
10 月 7 日(水),	データベースガイダンス	4	52

10月14日(水), 10月21日(水), 11月11日(水)	東洋経済 DCL, Web of Science, WestlawNext, eol のデータベース提供会社が講師として、ライブ配信でデータベースの活用方法を解説。可能な範囲で後日、Google Classroom でガイダンス録画を学内限定で公開。		
11月2日(月)~ 11月24日(火)	ワークショップ:法学科目(憲法)の答案を書くために 法学科目の答案作成のための主に法学部1~2年生向けワークショップ。学研科と共催で Google Classroom を使用した録画での講義, 個人ワークを行い, アンケート上で講師宛に寄せられた質問とその回答をまとめた「Q&A」を, 同じく Google Classroom 内で公開した。アンケートの要望を受け, 録画・解説資料等を実施期間後も学内限定で公開した。	1	46
	合計	27回	459人

**図書館セルフツアーガイド
配布中**

ガイドを見ながら
館内を歩いてみましょう!

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サービスが変更される場合があります。
最新の情報は図書館ウェブサイトをご確認ください。

一橋大学附属図書館セルフツアーガイド

**図書館で
できる
10のこと**

こんなことができます。 CHECK!

- ① 本を借りる
- ② 相談する
- ③ 本を探す
- ④ PCを使う
- ⑤ 読書する
- ⑥ 印刷する
- ⑦ グループで勉強する
- ⑧ 新聞・雑誌を読む
- ⑨ 卒論・修論を読む

＜図書＞
様々なコレクションや
卒業論文・修士論文
も、入庫制限あり。

＜本館＞
メインのサービス拠点。
和書や洋書がある。
PCも利用できる!

＜貸付台帳＞
図書館のシンボル。
予約不要の学習空間あり。

＜雑誌＞
学術雑誌や新聞がある。

本館1階から
セルフツアーSTART

(左)図書館セルフツアーガイド
(下)講習会のポスター

オンライン開催 Workshop
**法学科目(憲法)の
答案を書くために**

講師: 小西 葉子 法学研究科特任講師 (シニアアドバイザー)

6/15 配信開始

配信期間 6/15(水) - 6/23(火)

参加方法 事前申込

対象者 法学部1~2年生

小西先生からのコメント

一橋大学附属図書館2020年度秋学期
**データベース
ガイダンス**

学研科対象

講師 各データベース提供元

開催方法 Zoom等ライブ配信

参加方法 事前申込済

10/7 水 東洋経済デジタル
コンテンツライブラリー

10/14 木 Web of Science
EndNote

10/21 木 WestlawNext

11/11 水 eol

Workshop
**法学科目(憲法)の
答案を書くために**

講師: 松本 奈津希 法学研究科特任講師 (シニアアドバイザー)

11/2 配信開始

配信期間 11/2(水) - 11/24(火)

参加方法 事前申込 (配信期間終了日まで)

対象者 法学部1~2年生

松本先生からのコメント

② オンデマンド・ガイダンス

教員からの依頼により、資料の探し方、データベースの使い方など、要望に合わせた内容で図書館職員が学生に解説する。

研究科等	実施回数	参加人数 (概数)
経営管理研究科・商学部	3	40
経済学研究科・経済学部	3	39
法学研究科・法学部	6	142
社会学研究科・社会学部	4	52
言語社会研究科	0	0
その他	4	49
合計	20回	322人

(2) 展示

① 図書館展示室

令和2年度は、毎年11月の大学祭(一橋祭)の時期にあわせて行っている企画展示の開催を見合わせた(一橋祭はオンライン開催)。常設展示として、本学の源流である商法講習所の設立から東京商科大学を経て新制一橋大学設立に至る歴史を紹介する「一橋大学の歩み」に加え、当館の所蔵するコレクションを順次紹介している。

② 読書案内小展示(Yomocca コーナー)

3月11日(水)～7月21日(日)	感染症と社会
4月1日(水)～5月30日(土)	アカデミック・スキルズ 2020
10月8日(木)～11月30日(月)	アカデミック・スキルズ 2020 注)
11月2日(月)～1月29日(金)	旅の本棚
11月24日(火)～12月28日(月)	ブックトーク 2020 関連図書展示 海水から飲み水を
12月1日(火)～3月31日(水)	2020 メモリアルイヤーの音楽家たち
1月13日(水)～3月31日(水)	海外に伝える日本、海外から見た日本～ポップカルチャー編～ <電子ブック展示>

1月19日(火)～3月31日(水)	海外に伝える日本、海外から見た日本～伝統文化編 ～ <電子ブック展示>
2月3日(水)～4月30日(金)	データを読む、扱う

*注) 4月10日～9月11日が臨時休館だったため、4月～6月の展示図書に電子ブックを追加して再展示した。



Yomocca コーナー展示

(左)旅の本棚 (右)2020 メモリアルイヤーの音楽家たち



③ その他館内

7～8月に日・EUフレンドシップウィーク展示を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため次年度に延期とした。

(3) 行事

①	11月20日(金) ～23日(月)	令和2年度蔵書点検
②	12月9日(水)	ブックトーク 2020「海水から飲み水を — 逆浸透膜のイノベーションに挑んだ企業の歴史」開催 講師:青島 矢一氏(一橋大学大学院経営管理研究科教授/イノベーション研究センター長), Zoom ミーティング(ライブ配信)

(4) 館内ワーキング・グループ、プロジェクトチーム活動

情報リテラシー教育ワーキング・グループ(通年)	主体的な学修活動促進のために、ガイダンス等を通じて、情報リテラシー教育を支援する。
図書館利活用ワーキング・グループ(通年)	学生選書会、ブックトーク、高本小展示等の学生向け読書推進活動を行う。
図書館業務システム定例会(通年)	図書館業務システムの運用課題に取り組む。

資料等再配置計画検討ワーキング・グループ(通年)	資料配置等における課題を洗い出し、第3期中期目標・中期計画に沿った適切な資料配置および効果的なスペース活用について検討する。
企画展示ワーキング・グループ	図書館展示室で開催する展示について、計画・実施する。
次期図書館業務システム調査検討グループ(2018/1～2019/6)	図書館業務システムの更新に係る要求要件を調査検討する。
図書館業務システム更新プロジェクトチーム(2020/3～2021/3)	図書館業務システムの更新に係る各種課題の解決にあたる。
附属図書館ウェブサイトリニューアルプロジェクトチーム(2019/5～2020/3)	附属図書館ウェブサイトのリニューアルについて検討し、実施する。

(5) 館内勉強会・報告会等

①	7月29日(水)	目録担当者向けCAT2020勉強会(目録情報係・田波)
②	11月12日(木) ～13日(金)	図書修理実習(古典資料係・篠田, 石井)

(6) 広報紙 BELL の発行

No.186 2020-08-11		夏休みの長期貸出 実施中／肖像画の修復・保存事業にご支援・ご協力いただいています。／洋書の電子ブック 28,000 タイトル以上が自宅から期間限定読み放題／新規導入データベースのお知らせ : WestlawNext 他
No.187 2020-09-01		図書館資料を郵送でお届けします／システム更新に伴う図書館サービスの休止について

<p>No.188 2020-09-29</p>		<p>図書館、開館中！／秋こそ、ガイダンス。</p>
<p>No.189 2020-09-30</p>		<p>HERMES-Catalog リニューアルへ／一橋大学機関リポジトリ HERMES-IR が新しくなりました</p>
<p>No.190 2020-10-20</p>		<p>本学研究成果のオープンアクセス化を促進する</p>
<p>No.191 2020-10-26</p>		<p>秋のガイダンス、後半戦！／トライアルのお知らせ</p>
<p>No.192 2020-12-01</p>		<p>ブックトーク、12/9(水)オンライン開催！：海水から飲み水を 逆浸透膜のイノベーションに挑んだ企業の歴史／冬休み長期貸出のお知らせ 自著論文のアクセス統計をいつでもご確認いただけるようになりました</p>
<p>No.193 2020-12-24</p>		<p>スマホ決済、はじめました。／開催報告：一橋大学附属図書館ブックトーク 2020 海水から飲み水をー逆浸透膜のイノベーションに挑んだ企業の歴史ー／高本善四郎氏助成図書コーナーで展示開催中 (2020/12/1～)『2020 メモリアルイヤーの音楽家たち』</p>
<p>No.194 2021-02-09</p>		<p>春休み長期貸出のお知らせ／電子ブック展示『海外に伝える日本、海外から見た日本』／授業用図書の購入申込を受け付けます／ Nikkei Asia が無料購読できます</p>

<p>No.195 2021-02-24</p>		<p>読書支援ツールを設置しました／Yomocca コーナー展示「データを読む、扱う」開催中！／3月に卒業・修了・退職されるみなさまへ／リザーブブックって、何？</p>
<p>No.196 2021-03-18</p>		<p>新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！</p>

3. 統 計

3.1 所蔵資料状況

(1) 所蔵資料数

令和3(2021)3月31日現在

資料区分		内訳		合計
図書(冊)	和	1,103,787		2,052,771
	洋	948,984		
雑誌(種類)	和	6,985		17,097
	洋	10,112		
電 子 的 資 料	電子ブック(タイトル)	和	2,516	23,966
		洋	21,450	
	電子ジャーナル(種類)	出版社	7,367	25,664
		その他	18,297	
	データベース(種類)	国内	20	71
		国外	51	

※図書・雑誌の「和」は中国語, 韓国語を含む

(2) 年間受入資料数

資料区分	令和2(2020)年度		参考:令和元(2019)年度	
図書(冊)	和	9,797	和	9,744
	洋	5,776	洋	6,538
	計	15,573	計	16,282
雑誌(種類)	和	1,303	和	1,311
	洋	433	洋	810
	計	1,736	計	2,121

※図書・雑誌の「和」は中国語, 韓国語を含む

※「雑誌」には, 個別契約の電子ジャーナルを含む

(3) 図書館資料費(専門図書費等・決算)

	令和2(2020)年度	参考:令和元(2019)年度
専門図書費等	323,167 千円	317,069 千円

※他部局からの振替執行分を含む

3.2 利用状況

(1) 開館日数と入館者数

	令和2(2020)年度		参考:令和元(2019)年度	
開館日数	218日		336日	
入館者数	平日	34,960	平日	244,852
	休日	170	休日	41,608
	計	35,130	計	286,460

(2) 館外貸出冊数

	令和2(2020)年度		参考:令和元(2019)年度	
館外貸出冊数	学生	107,118	学生	104,297
	教職員	8,703	教職員	10,186
	学外者	0	学外者	1,559
	計	115,821	計	116,042

(3) 図書館相互協力

	令和2(2020)年度		参考:令和元(2019)年度	
文献複写:受付 (件数)	国内・大学図書館	1,294	国内・大学図書館	2,239
	国内・その他	60	国内・その他	86
	国外	23	国外	27
	計	1,377	計	2,352
文献複写:依頼 (件数)	国内・大学図書館	820	国内・大学図書館	996
	国内・その他	38	国内・その他	56
	国外	4	国外	112
	計	862	計	1,164
現物貸借:受付 (冊数)	国内・大学図書館	375	国内・大学図書館	644
	国内・その他	13	国内・その他	32
	国外	0	国外	0
	計	388	計	676
現物貸借:依頼 (冊数)	国内・大学図書館	635	国内・大学図書館	1,024
	国内・その他	40	国内・その他	31
	国外	1	国外	12
	計	676	計	1,067

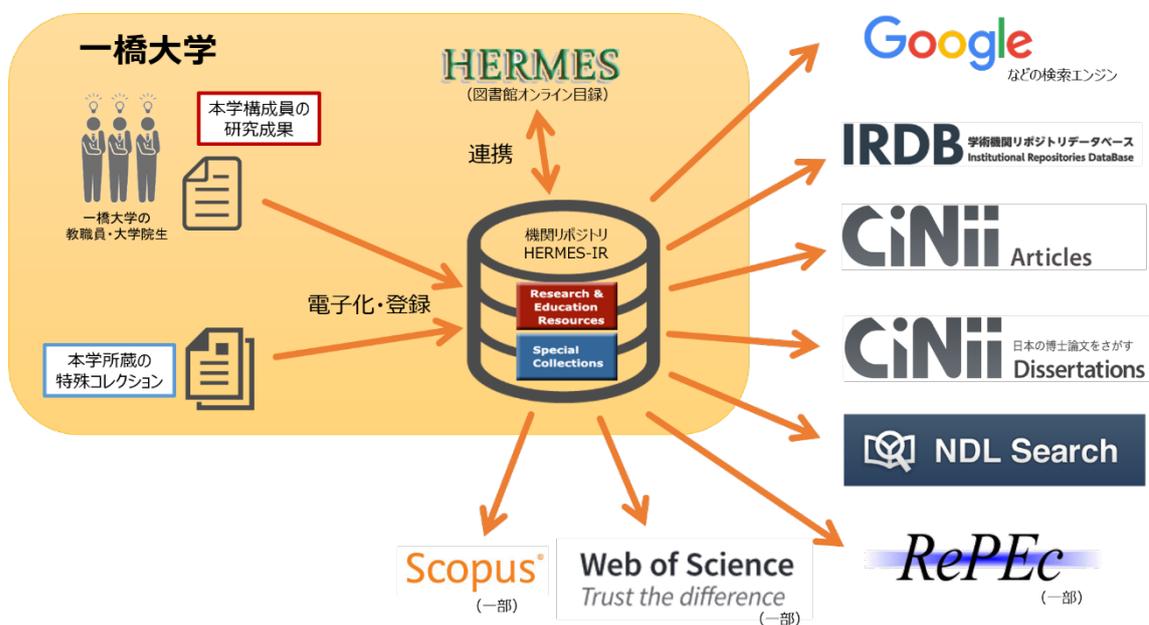
4. 機関リポジトリ

4.1 一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”の概要

本学の研究・教育活動の成果をインターネットで広く世界に発信するため、平成19(2007)年5月から一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”を公開している。

機関リポジトリとは、機関(大学)で生産された研究成果の全文を電子的に保存し、発信するインターネット上の集積庫のことである。

HERMES-IR は附属図書館長を統括責任者とし、学術・図書部が運営を支援している。また、国立情報学研究所をはじめとする他機関と協力して、学術情報の流通を促進する機能を果たしている。



(1) Research & Education Resources

一橋大学の研究・教育活動の成果を電子媒体で収集・保存し、インターネット上で全文データを発信している。外部のデータベースからメタデータ(著者名, 論題, 雑誌名など)をハーベスト(プログラマ的なメタデータの収集)されることにより、学外のサイトでも HERMES-IR に登録されたデータが検索されるようになっている。

(2) Special Collections

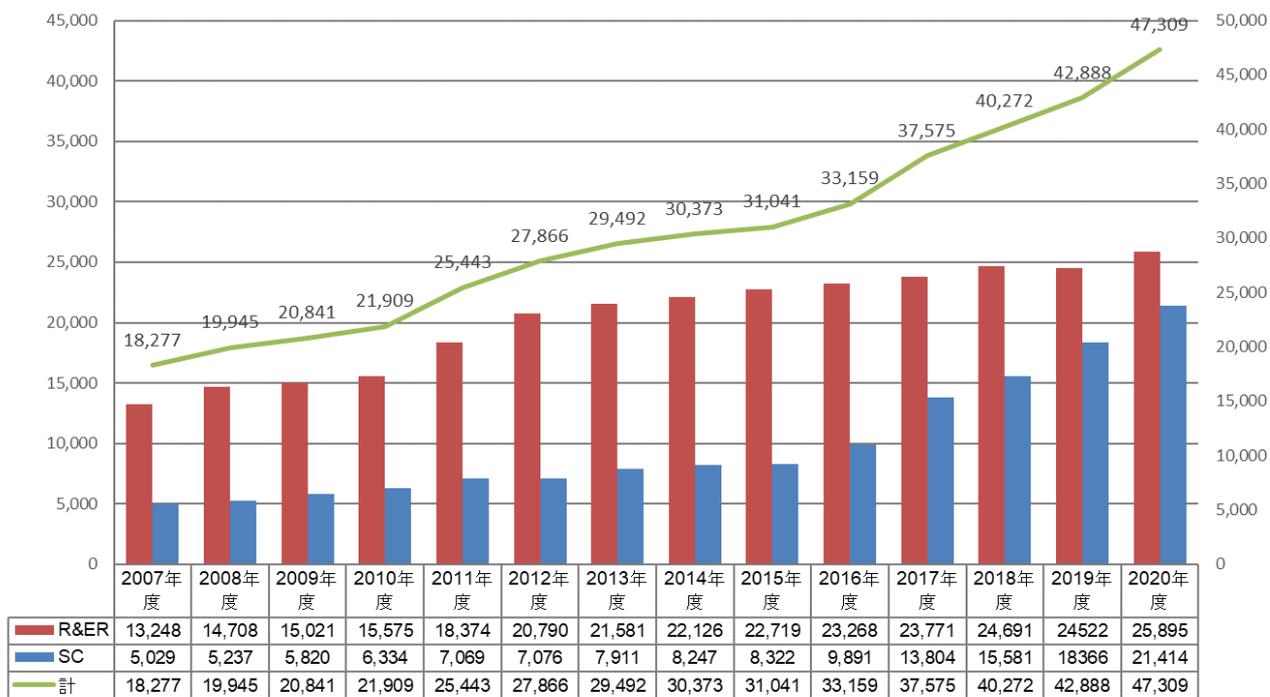
本学が所蔵する特殊コレクションを電子画像化し、インターネット上で発信している。社会科学史上、貴重な古典籍や数々の原史料(写真, 図譜類, 文書類, 手稿類, 博物資料等)を電子化することにより、資料保存と公開利用のバランスを図っている。また、学園史関係資料のアーカイブとしての役割も担っている。

4.2 統計

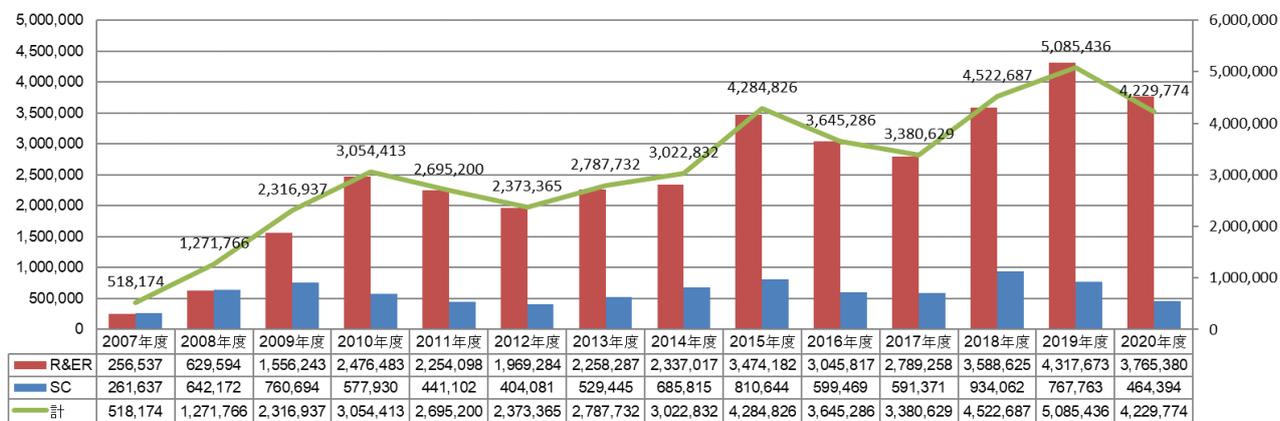
■ R&ER : Research & Education Resources

■ SC : Special Collections

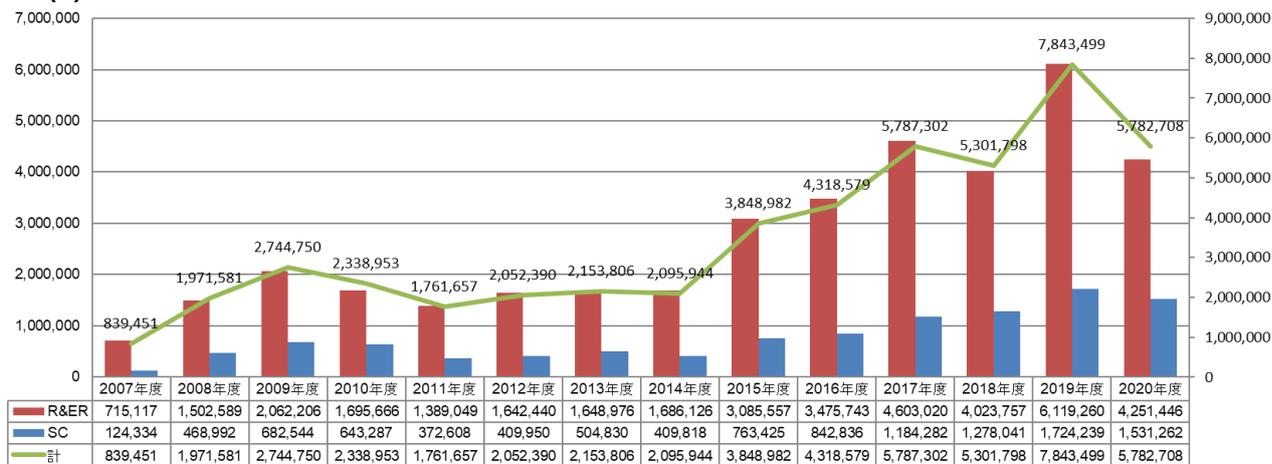
(1) コンテンツ累計登録数〔件〕



(2) 本文閲覧数〔ページビュー〕



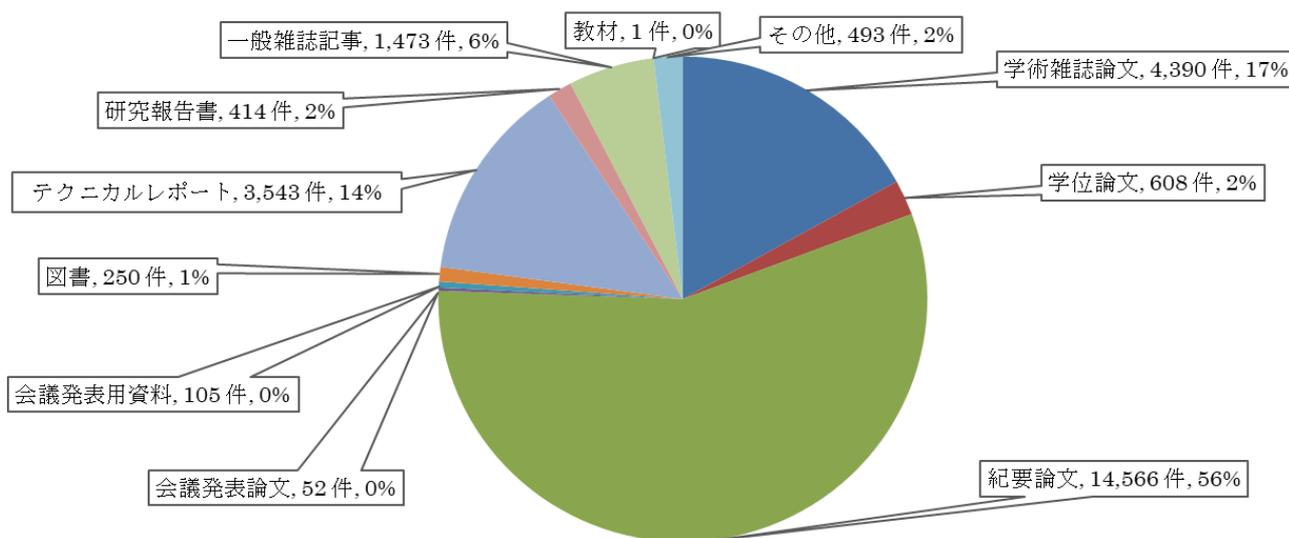
(3) 目録閲覧数〔回〕



4.3 Research & Education Resources

(1) 登録コンテンツ内訳

令和 3(2021)年 3 月 31 日現在



(2) 外部データベース等との連携

HERMES-IR は、外部データベース等と以下のような連携を行うことで、視認度や利便性の向上を図っている。

- サーチエンジン(Google 等)からの検索・リンク
- 日本の機関リポジトリ・ポータル“IRDB”からの検索・リンク
- 「一橋大学研究者情報」(HRI : Hitotsubashi Researchers Information) データベースとの相互リンク
- 分野別リポジトリやデータベースとの連携(書誌情報やコンテンツ提供)
 - ・ RePEc : Research Papers in Economics (経済学分野の世界的な主題リポジトリ)
 - ・ EBSCOhost(EBSCO 社が提供する, 世界的・学際的な学術文献データベース)

(3) デジタル識別子(DOI)の付与

機関リポジトリ登録コンテンツの利用促進および検索環境の向上を図るため, 平成 28(2016)年度より, 本学紀要論文, 博士論文(平成 25(2013)年度以降学位授与分)を, 令和元年度より本学学園史資料のうち, 雑誌や図書資料を対象にジャパンリンクセンター(JaLC)の DOI(Digital Object Identifier)の付与を実施している。

(4) 「一橋大学オープンアクセス方針」の策定

本学の研究力を広く世界に発信し, 学際的な研究やイノベーションの創出を促し, その成果を社会に還元するため, 平成 29(2017)年 10 月に, 研究成果を一橋大学機関リポジトリ HERMES-IR によって公開することを趣旨とした「一橋大学オープンアクセス方針」を策定し, 平成 30(2018)年 4 月 1 日より実施している。

4.4 Special Collections

令和 2(2020)年に導入した新しい機関リポジトリシステムが有する表示機能を活用して, 国際的な画像共有の枠組みである IIIF(International Image Interoperability Framework)に対応した画像公開を行っている。

近代日本経済史・経営史デジタルアーカイブ

- | | |
|-------------|------------------|
| ・修学旅行等報告書 | ・大伝馬町長谷川木綿店古帳 |
| ・商品陳列所旧蔵報告書 | ・日本郵船株式会社社会計帳簿類 |
| ・農商務省調査資料 | ・第三回内国勸業博覧会出品解説書 |
| ・商業慣習調査資料 | ・江戸期商業関係資料 |
| ・西川孝治郎文庫 | ・明治期商業関係資料 |
| ・札差関係資料 | |

近現代日本の専門職業人養成教育資料データベース

本学の講義ノート, 受講ノート, 教材等の教育・研究資料のコレクション

研究者手稿類デジタルアーカイブ

- | | |
|-------------------|------------------|
| ・大塚金之助(1892-1977) | ・福田徳三(1874-1930) |
|-------------------|------------------|

- ・左右田喜一郎(1881-1927)
- ・杉村広蔵(1895-1948)

- ・古川栄一(1904-1985)
- ・三浦新七(1877-1947)

学園史関係資料

一橋大学にゆかりのある資料(関係図書, 論文・記事, 講演等発表資料ほか)

社会科学古典資料センター所蔵資料

- ・社会科学古典資料センター所蔵インキュナブラ
- ・フランクリン文庫
- ・メンガー文庫

附属図書館所在肖像画等コレクション

一橋大学附属図書館に所在する肖像画, 銅像, レリーフ等のコレクション

井藤半彌旧蔵ドイツ紙幣等コレクション

一橋大学元学長 井藤半彌(1894-1974)が, ベルリン留学中(大正 11(1922)年 11 月-大正 14(1925)年 3 月)に収集した, インフレ期(1922-23)のドイツ紙幣, 緊急通貨(Notgeld), また, それとほぼ同時期に中国大陸で使用された法幣, 軍票のコレクション

奎星帖

明治年間の広告を中心に, 記事の切り抜き・肖像写真・領収書・名刺・封筒・はがき・番付・本の題簽や見返し・短冊・扇面図・江戸時代の文書の断簡等雑多なものを貼り込んだスクラップブック。山寺清二郎が製作

戦前期アジア諸国写真コレクション

陸軍経理学校が研究のために収集した, 昭和初期から第二次世界大戦期にかけてのアジア・太平洋諸地域の風俗・風景・民族・産業等の 3,705 枚の写真コレクション

幸田文庫

文豪幸田露伴の弟で, 1922-1940 の間本学で日本経済史を担当した幸田成友博士(1873-1954)が蒐集した「幸田文庫」の一部。武鑑類の和装本が大半を占める

都留重人名誉教授寄贈資料

一橋大学元学長, 一橋大学経済研究所元所長 都留重人が私蔵していた手稿, 書簡, 写真を含む私文書などのコレクション

日本・旧満州鉄鋼業資料(水津利輔氏旧蔵資料)

昭和製鋼所の拡充を中心とする満州鉄鋼業の建設およびその動因となった「日満支」の範囲での鉄鋼増産計画の立案に関する資料

剣友会資料(一橋大学剣道部 OB 会資料)

一橋大学剣道部(明治 34(1901)年 5 月創部)の初代師範である, 鹿島神傳直心影流正統 15 代一徳斎山田次朗吉先生の著書および関連資料

5. 利用案内

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、附属図書館利用規則・細則に沿った、下記の通常開館時間・サービス内容とは異なる対応をとった。

5.1 開館時間・各種サービス案内

		平日(月～金)		土・日・祝	
		授業期	休業期	授業期	休業期
図書館本館		8:40～22:00	8:40～19:00	9:30～20:00	9:30～19:00
雑誌棟		8:40～21:30	8:40～18:30	9:30～19:30	9:30～18:30
大閲覧室		8:40～21:30	8:40～18:30	-	
時計台棟コモンズ		8:40～20:00	8:40～17:00	-	
名誉教授閲覧室		8:40～21:30	8:40～18:30	-	
書庫	(入庫)	9:00～16:30		-	
	(出納)	9:00～16:45 (注1)			
貴重資料利用		9:00～17:00	9:00～12:00, 13:00～17:00	-	
マイクロ資料利用		9:00～17:00 (注2 17:00～ 閉館 30 分前)	9:00～12:00, 13:00～17:30	(注2 9:30～閉館 30 分前)	
ヘルプデスク(レファレンス・文献複写・現物貸借)		9:00～17:00	9:00～12:00, 13:00～17:00	-	
利用証発行		9:00～17:00		-	

(注1) 学内者は、事前申込により平日夜間、土日祝日に書庫資料の閲覧が可能

(注2) 学内者は、事前申込により平日夜間、土日祝日にマイクロ資料の閲覧が可能

5.2 利用の範囲

利用者区分	利用証有効期間	閉架書庫 入庫	館外貸出
教職員	在職期間	○	○
学部学生	在学期間	×	○
大学院学生	在学期間	○	○
名誉教授	終身	○	○
元専任教員	交付日から1年間(更新可)	○	○
研究員	在籍期間	○	○
学部卒業生	交付日から1年間(更新可)	×	×
大学院修了または単位修得後退学者	修了または退学後5年間	○	○
大学院修了または単位修得後退学5年以上	交付日から1年間(更新可)	×	×
他機関の研究者(館長許可)	交付日から1年間(更新可)	○	○
大学功労者	終身	×	○
学外者	当日限定	×	×

5.3 館外貸出冊数・貸出期間

利用者区分	貸出 冊数	貸出期間		
		学習用図書	一般図書	製本雑誌
教職員	70冊	2週間	年度末まで	1週間
学部学生	10冊	2週間	2週間	1週間
大学院学生	30冊	2週間	2か月	1週間
名誉教授	70冊	2週間	年度末まで	1週間
元専任教員	10冊	×	1か月	1週間
研究員	30冊	2週間	2か月	1週間
大学院修了または単位修得後退学5年以内	10冊	×	1か月	1週間
他機関の研究者(館長許可)	10冊	×	1か月	1週間
大学功労者	10冊	×	1か月	1週間

6. 施 設

6.1 建物

附属図書館施設は国立・西キャンパスにあり、昭和 5(1930)年竣工以来の様々な建物で構成されている。

(1) 時計台棟

- ・昭和 5(1930)年竣工
- ・昭和 60(1985)年, 平成 12(2000)年改修, 平成 27(2015)年耐震改修竣工
- ・地上 2 階地下 1 階, 時計台
- ・図書館使用部分床面積 1,931 m² ※

※ 時計台棟には, 図書館施設のほか, 教員研究室も配置されている。

昭和 5(1930)年, 本学の前身である東京商科大学の谷保村(現・国立市)移転と共に建設された。西キャンパスの中心に位置し, 時計台と 2 階大閲覧室は, 今日においても一橋大学のシンボリック的存在である。1 階は主に展示や研修のためのスペースにあてられている。

平成 24(2012)年に時計台棟コモンズを開設し, グループ学習などアクティブラーニングに対応する施設として年間 1 万人を超える多くの利用がある。

令和元年度に, 施設整備費補助金により, 大閲覧室の天井面に落下防止ネットを張る改修工事を行い, 大規模地震への安全対策が強化された。

2階	大閲覧室
1階	エントランスホール, 附属図書館会議室, 時計台棟コモンズ, 図書館展示室, 図書館セミナールーム, 名誉教授閲覧室, 保存修復室, 学園史資料室
地階	書類保管庫



時計台棟外観



時計台棟から図書館本館自動扉を見る

(2) 図書館本館

- ・平成 12(2000)年竣工
- ・地上 4 階地下 1 階, 一部 5 階
- ・延床面積 6,693 m²

旧図書館本館の出納および事務スペース(時計台棟背面部分)と第一書庫を取り壊した跡に, 新しい図書館本館として平成 12(2000)年に竣工, 開館。

100 万冊規模の開架図書に加えて, 50 台の情報検索端末や読書スペース Yomocca が設置されている。

平成 29 年度には, 劣化していた各フロアのトイレについて, 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金による改修があり, 節水型器具の整備等, 機能・美観が大きく改善された。

5階	機械室
4階	貴重資料室, マイクロ資料室, 事務室
3階	開架閲覧室
2階	開架閲覧室, グループ学習室, 大閲覧室入口
1階	カウンター(受付/貸出/返却/ヘルプデスク), 参考図書コーナー, 情報検索コーナー, 読書スペース Yomocca, 書庫入口, 雑誌棟連絡通路, 事務室
地階	開架書庫, 機械室



読書スペース Yomocca(本館1階)



情報検索コーナー(本館1階)



貴重資料室(本館4階)

(3) 雑誌棟

- ・昭和 55(1980)年竣工(地上 3 階現低層部分)
- ・平成 8(1996)年増改築竣工
- ・地上 5 階地下1階
- ・延床面積 4,246 m²

閉架中心の研究図書館であった旧・本館(現・時計台棟)に対して、学習図書館(新館(当時))として昭和 55(1980)年に開館。平成 8(1996)年の増改築後は、平成 12(2000)年の現・本館開館まで、本館機能を果たした。

現在は、雑誌、新聞等の逐次刊行物および統計、白書、法令資料等が集中配置されている。また、社会科学系外国雑誌センター館雑誌および EU 資料も配置されている。

5階	開架閲覧室, グループ学習室
4階	開架閲覧室
3階	開架閲覧室
2階	開架閲覧室
1階	開架閲覧室, 新聞コーナー, 事務室, 本館連絡通路
地階	開架書庫, 機械室



新着雑誌コーナー(雑誌棟1階)

(4) 第二書庫

- ・昭和 39(1964)年竣工
- ・平成 21(2009)年耐震改修竣工
- ・地上 4 層
- ・延床面積 846 m²



第三書庫(4階)

(5) 第三書庫

- ・昭和 58(1983)年竣工
- ・地上 4 層地下 1 層
- ・延床面積 885 m²

書庫の出入口にはカード認証リーダを設置し、教職員および大学院生が入庫できるようになっている。学部学生等は、職員の出納により書庫の資料を利用できる。

令和元(2019)年 10 月の台風 19 号の影響により、雨量が屋上の排水能力を超え、屋上の施錠扉の隙間から第二書庫も含めて全フロアに浸水を受けたが、被災後速やかに、屋上

からの浸水防止および排水力向上のための補修や浸水防止のための改修工事が行われた。

なお、「第一書庫」は現・本館新築のため平成 11(1999)年に解体されたが、「第二書庫」「第三書庫」の呼称はそのまま踏襲した。

(6) 小平研究保存図書館

- ・平成 26(2014)年改修
- ・地上 2 層地下 1 層
- ・延床面積 2,131 m²



小平研究保存図書館

平成 26 年度国立大学法人施設設備整備費補助金(国立大学改革基盤強化促進費)により、「近現代日本経済史・経営史のためのアーカイブスの整備等」事業が採択され、書架の整備およびアーカイブスのための環境整備を行った。

6.2 閲覧座席数, 収容可能冊数, 床面積(中央図書館のみ)

令和 3(2021)年 5 月 1 日現在

	閲覧座席数	収容可能 冊数 (千冊)	床面積(m ²)						
			延床面積	サービス用途			管理用途		その他
				閲覧	情報	その他	書庫	事務	
時 計 台 棟	381[169]		1,931	694		174	87	272	704
本 館	204[93]	882	6,693	2,493	105	129	1,202	835	1,929
雑 誌 棟	218[82]	674	4,246	2,532	3	37	455	186	1,033
第 二 書 庫		172	846				846		
第 三 書 庫		229	885				885		
連絡通路等			201						201
小平研究保存 図書館	24	313	2,131	43		41	1,330	123	594
合 計	827[368]	2,270	16,933	5,762	108	381	4,805	1,416	4,461

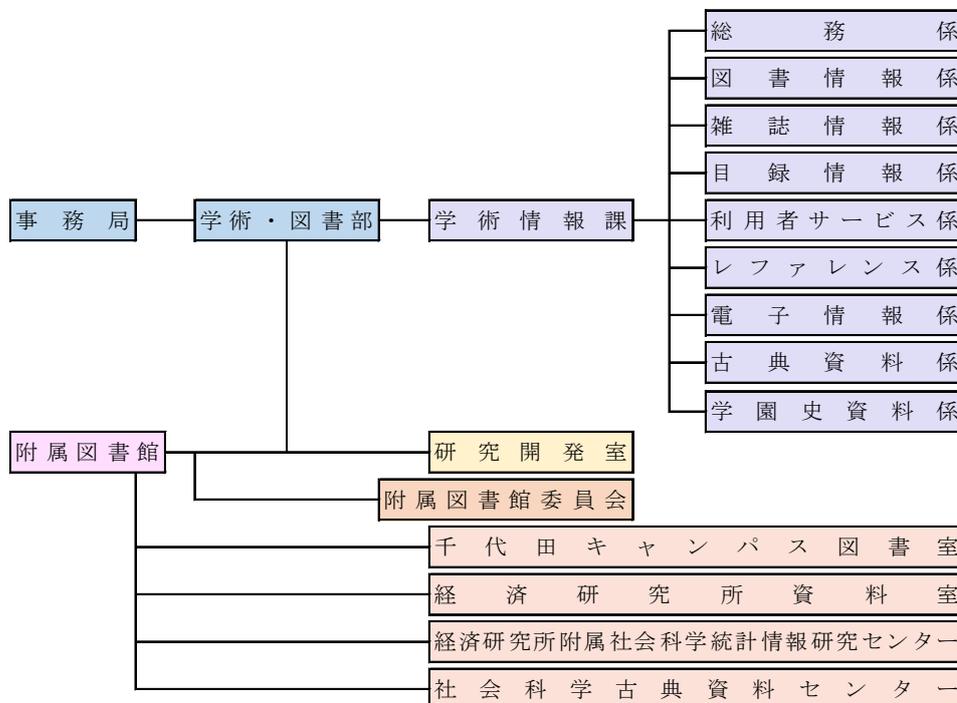
※ 閲覧座席数の括弧[]内は実際に利用できる座席数(感染症対策による間隔確保のための座席数制限)。

※ 収容可能冊数は、1 棚(90cm)25 冊で計算。

7. 組 織

7.1 組織機構図

令和3(2021)年5月1日現在



7.2 学術・図書部職員の配置

() の()内の数は、外数で兼務を示す。

	一般職員		非常勤職員	計	備 考
	図書系	その他			
部 長		1		1	
課 長		(1)		(1)	部長兼務
課 長 代 理	1			1	
専 門 員		1	1	2	電子情報担当/学園史資料担当
専 門 職 員	1	1		2	会計担当/学術情報課付
総 務 係		1	1	2	
図 書 情 報 係	2(1)		1	3(1)	うち1名経済研究所兼務
雑 誌 情 報 係	2		4	6	
目 録 情 報 係	1(1)		5	6(1)	うち1名経済研究所兼務
利 用 者 サ ー ビ ス 係	2		8	10	うち時間外開館職員5
レファレンス係	3		3	6	
電 子 情 報 係	2		1	3	
古 典 資 料 係	2		3	5	
学 園 史 資 料 係	1(1)		2	3(1)	係長は課長代理が兼務
助 手		0		0	一橋ジャーナル編集(欠員)
計	17(3)	4(1)	29	50(4)	

7.3 附属図書館研究開発室

附属図書館研究開発室は、図書館機能の強化に関する様々な調査研究を行うため、平成24(2012)年4月に設置した組織である。業務内容の見直しおよび効率化を図るため、平成30(2018)年10月に一橋大学附属図書館研究開発室規則の一部改正を行った。

(1) 役割

- 歴史的資料の保存・公開に関する調査研究
- 附属図書館の情報発信の機能強化に関する調査研究

(2) 体制

令和3(2021)年4月1日現在

	氏名	所属・職名	任期
室長	三隅 隆司	附属図書館長	令 2. 4. 1～令 4. 3.31
室	石居 人也	社会学研究科教授	平 30.12.10～令 4. 3.31
	大月 康弘	経済学研究科教授	令 2. 4. 1～令 4. 3.31
	加藤 圭木	社会学研究科准教授	平 30.12.10～令 4. 3.31
員	佐藤 仁史	社会学研究科教授	令 2. 4. 1～令 4. 3.31
	友部 謙一	経済学研究科教授	令 2. 4. 1～令 4. 3.31

(3) 成果の公表：『一橋大学附属図書館研究開発室年報』

研究開発室の年間の活動および研究成果を公表することを主たる目的とし、併せて図書館活動に関わる事業・調査・研究報告を行うため、平成24(2012)年度に『一橋大学附属図書館研究開発室年報』を創刊、2021年3月 No.9を発行。

一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”等で、本文の電子公開を行っている。

・No.9 PDF ファイル(一橋大学機関リポジトリ HERMES-IR)
<https://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/ir/rdo/rdo00009.pdf>



7.4 附属図書館委員会名簿

令和3(2021)年4月1日現在

所属・職名		氏名	任期	予算検討WG※
附属図書館長	教授	三隅 隆司	令 2.4.1～令 4.3.31	○
役員補佐	教授	阿部 修人	令 2.9.1～令 4.8.31	○
経営管理研究科	教授	島本 実	令 2.4.1～令 4.3.31	
〃	教授	安田 行宏	令 3.4.1～令 5.3.31	○
経済学研究科	准教授	高久 玲音	令 2.4.1～令 4.3.31	○
〃	准教授	杉田 洋一	令 3.4.1～令 5.3.31	
法学研究科	准教授	竹村 仁美	令 2.4.1～令 4.3.31	○
〃	教授	緑 大輔	令 3.4.1～令 5.3.31	
社会学研究科	教授	佐藤 文香	令 3.4.1～令 4.3.31	○
〃	講師	田中 亜以子	令 3.4.1～令 5.3.31	
言語社会研究科	准教授	有賀 暢迪	令 3.4.1～令 4.3.31	○
経済研究所	教授	森川 正之	令 3.4.1～令 5.3.31	○
全学共通教育教員	教授	台坂 博	令 2.4.1～令 4.3.31	○
〃	教授	小岩 信治	令 2.4.1～令 4.3.31	
社会科学古典資料センター	教授 (兼務)	森 宜人	令 2.4.1～令 4.3.31	
学術・図書部	部長	風間 智光	令 3.4.1～	○

※「一橋大学附属図書館予算検討WG」は、附属図書館の予算の今後の方針について審議するため、令和3年度に附属図書館委員会のもとに設置した。

7.5 歴代附属図書館長

初代	高垣 寅次郎	大 15.11.29～昭 11.2.10	第18代	森田 哲彌	昭 61.12.1～平元.6.15
第2代	本間 喜一	昭 11. 2.10～12. 3. 5	第19代	外池 正治	平元. 6.16～ 3. 6.30
第3代	吹田 順助	昭 12. 3. 5～19. 8.11	第20代	宮川 公男	平 3. 7. 1～ 6. 6.30
第4代	山田 雄三	昭 19. 8.11～21.12. 1	第21代	中村 政則	平 6. 7. 1～ 9. 6.30
第5代	村松 恒一郎	昭 21.12. 1～25. 5.18	第22代	石 弘光	平 9. 7. 1～10.11.30
第6代	山口 茂	昭 25. 5.18～26. 6.18	第23代	安藤 英義	平 10.12. 1～13.11.30
第7代	加藤 由作	昭 26. 6.18～28. 7.14	第24代	池間 誠	平 13.12. 1～16.11.30
第8代	村松 恒一郎	昭 26. 7.14～35. 3.31	第25代	斎藤 修	平 16.12. 1～20.11.30
第9代	高橋 泰蔵	昭 35. 4. 1～36. 4.16	第26代	渡辺 雅男	平 20.12. 1～22.11.30
第10代	森田 優三	昭 36. 4.16～40. 3.31	第27代	江夏 由樹	平 22.12. 1～26. 3.31
第11代	馬場 啓之助	昭 40. 4. 1～43. 3.31	第28代	青木 玲子	平 26. 4. 1～26.11.30
第12代	板垣 興一	昭 43. 4. 1～46. 3.31	第29代	山部 俊文	平 26.12. 1～30.3.31
第13代	小泉 明	昭 46. 4. 1～50. 9.10	第30代	大月 康弘	平 30.4.1～令 2.3.31
第14代	増淵 龍夫	昭 50. 9.10～53. 9. 9	第31代	三隅 隆司	令 2.4.1～
第15代	木村 増三	昭 53. 9.10～56. 9. 9			
第16代	大川 政三	昭 56. 9.10～59. 9. 9			
第17代	川井 健	昭 59. 9.10～61.11.30			

8. 沿革

1875年	8月	森有禮, 銀座尾張町に商法講習所を私設する。
1884年	3月	商法講習所は農商務省の所管に移り, 東京商業学校と改称する。
1885年	9月	東京商業学校, 東京外国語学校, 同所属高等商業学校を併せて, 新たに東京商業学校と称し, 神田区一ツ橋通町の旧東京外国語学校舎に開設する。 初めて図書室が設けられ, 図書掛 3 名を置く。
1887年	10月	高等商業学校と改称する。
1894年		図書館が新築される。
1899年	4月	附属外国語学校が再び分離独立し, 東京外国語学校(現・東京外国語大学)となる。
1902年	4月	勅令により東京高等商業学校と改称する。
1909年	2月	新図書閲覧所(木造 2 階建)が開館する。
1917年	5月	御大典記念図書館(鉄筋 4 階建書庫, 木骨煉瓦張事務室および閲覧室)が竣工する。
1920年	4月	大学に昇格し, 東京商科大学が発足する。
1923年	9月	関東大震災により, 図書館も一部破壊する。
1926年	9月	勅令により官制上初めて, 本学に附属図書館が設置される。館長と司書 2 名を置く。
1930年	10月	新キャンパス(現・国立市)で附属図書館が開館する。
1936年	4月	東京府北多摩郡小平村(現・小平市)に図書館予科分館(後の小平分館)が開館する。
1944年	10月	東京産業大学と改称する。
1947年	3月	大学名を東京商科大学に復する。
1949年	5月	国立学校設置法が公布され, 一橋大学が発足。 附属図書館の事務組織が確立する。事務長および本館に 4 係(総務, 洋書, 和漢書, 閲覧), 分館に図書係が置かれる。
1969年	4月	小平分館(鉄筋 2 階建)が新築され, 新小平分館が開館する。
1977年	3月	図書館貴重書書庫(現・社会科学古典資料センター建物)が竣工する。
1978年	4月	社会科学古典資料センターが発足し, 図書館長がセンター長を併任する。 部課長制を敷き, 整理課, 閲覧課の 2 課を置く。
1981年	6月	情報処理センター汎用機を利用し, 新館閲覧業務の電算処理を開始する。
1991年	2月	図書館業務電算システム“HERMES”を導入する。
1996年	10月	附属図書館ウェブサイトを開設する。
1997年	4月	小平分館を廃止し, 小平図書収蔵庫とする。
	6月	Web による OPAC および CD-ROM 検索サービスを開始する。
2000年	10月	附属図書館新本館が開館する。新館を雑誌棟に改称する。
2001年	11月	一橋デジタルアーカイブス“HDA”を公開する。
2004年	4月	国立大学法人に移行する。旧附属図書館事務部と事務局研究協力部門および情報処理部門を併せて「学術・図書部」に改組される。
2007年	5月	一橋大学機関リポジトリ“HERMES-IR”を公開する。
2014年	1月	小平図書収蔵庫が改修される。
	4月	小平研究保存図書館を設置する。
2020年	2月	附属図書館ウェブサイトをリニューアル, HERMES-Search をメイン検索ツールとする。

一橋大学附属図書館概要 令和3(2021)年度 2021年6月発行

編集発行：一橋大学附属図書館

〒186-8602 東京都国立市中2丁目1番地

TEL 042-580-8223 MAIL lib-dm@dm.hit-u.ac.jp

Website： <https://www.lib.hit-u.ac.jp/>

Twitter： https://www.twitter.com/hito_lib [[@hito_lib](https://www.twitter.com/hito_lib)]

Facebook： <https://www.facebook.com/hitotsubashi.university.library>